

【FdData 中間期末：中学社会地理】

[日本の気候]

◆パソコン・タブレット版へ移動

[日本の大部分は温帯]

[問題](要点把握)

次の下線部 A～E で誤っているものを 1 つ選び、正しい語句に直せ。

日本の大部分(本州・四国・九州)は A 温帯 に属しており B 四季の変化がはっきりしている。A 帯の中でも、年間を通して降水量の多い C 温暖湿润気候 である。日本は緯度の差が大きいため、北と南の気温の差が大きく、北海道の気候は D 冷帯、南西諸島の気候は E 熱帯 である。

[解答]E 亜熱帯

※出題頻度:「日本の大部分は温帯○」「温暖湿潤気候△」「四季の変化がはっきりしている△」「緯度の差が大きい△」「北海道は冷帯○」「南西諸島は亜熱帯△」

[問題](2 学期期末)

日本の気候について述べたア～エの文のうち、誤っているものを1つ選び、記号で答えよ。

- ア 本州・四国・九州など日本の大部分は温帯に属している。
- イ 日本は温帯の中でも温暖湿潤気候で、特に四季の変化がはっきりしている。
- ウ 北海道は、冷帯の気候である。
- エ 沖縄など南西諸島の気候は亜熱帯で、雨季と乾季がある。

[解答]エ

[問題](3 学期)

次の文の①～④に適語を入れよ。

日本のほとんどは(①)の気候で
(②)の変化がはっきりしている。し
かし、北海道は(①)ではなく、(③)
という気候である。また、沖縄など南西
諸島の気候は(④)である。

[解答]① 温帯 ② 四季 ③ 冷帯(亜寒
帯) ④ 亜熱帯

[問題](1 学期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 北海道や沖縄などをのぞくと、日本の大部分は温帯に属している。温帯の中でも、特に何という気候区に区分されるか。
- (2) 温帯は何の変化がはっきりしているか。
- (3) 北海道の気候は 5 つの気候帯の何帯に属するか。
- (4) 沖縄など南西諸島の気候は熱帯に近い温帯である。この気候を何というか。

[解答](1) 温暖湿潤気候(温帯湿潤気候)

(2) 四季の変化 (3) 冷帯 (4) 亜熱帯

[季節風]

[問題](要点把握)

次の下線部 A～G で誤っているものを 2 つ選び、正しい語句に直せ。

日本列島には、夏と冬で向きが変わる風がふいている。この風を A 偏西風 という。冬には、B 北西 の A 風が吹き、C 暖流の対馬海



流(図のウ)が流れる日本海の水蒸気を運んで来て、日本海側の地方に D 多量の雪 や雨を降らせる。雪や雨を降らせた後、太平洋側を通るときは E 乾燥 しているため、冬の太平洋側は F 晴れの日が多い。夏には G ア の方向の A 風によって、熱帯なみのむし暑い日が続く。

[解答]A 季節風, G イの方向

※出題頻度:「季節風◎(モンスーン△)」

「冬の風向きは北西(㊄)◎」「対馬海流
△」「日本海で湿気を含む△」「冬は日本
海側で雪や雨が多い○, 太平洋側は乾燥
△」「夏の風向きは南東(㊄)○」

[問題](3 学期)

次の各問いに答えよ。

- (1) 日本の気候に大きな影響を与える、季節によって風向きが変わる風の名を答えよ。
- (2) 日本では冬の(1)は、おもにどの方位からふいてくるか。8方位で答えよ。
- (3) 日本では夏の(1)は、おもにどの方位からふいてくるか。8方位で答えよ。

[解答](1) 季節風(モンスーン)

(2) 北西 (3) 南東

[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 日本の気候に大きな影響を与えている、季節によって風向きが変わる A, B の風をまとめて何というか。



- (2) 冬の風向きを示しているのは A, B のどちらか。
- (3) (1)の風の影響を受ける日本海側の冬の気候の特色を「～の日が多い」という形で書け。
- (4) 太平洋側の冬の気候の特色を「～の日が多い」という形で書け。

[解答](1) 季節風(モンスーン) (2) A
(3) 雪や雨の日が多い。(4) 晴れの日が多い。

[問題](前期期末)

次の文章中の①～⑦に適語を入れよ
(または、適語を選べ)。

日本は(①)風の影響を受け、温帯
の中でも特に四季がはっきりしている。
冬に②(南東/北西)からふく(①)風は、
(③)海をわたるときに暖流の
(④)海流から多量の水蒸気を与えら
れ、(③)海沿岸の山地にぶつかり多量の
(⑤)や雨を降らせる。(⑤)や雨を降ら
せた後、太平洋側を通るときは(⑥)
しているため、冬の太平洋側は晴れの日
が多い。夏には⑦(南東/北西)の(①)風に
よって、熱帯なみのむし暑い日が続く。

[解答]① 季節 ② 北西 ③ 日本
対馬 ⑤ 雪 ⑥ 乾燥 ⑦ 南東

[問題](1 学期期末)

新潟県の上越高田市は、日本有数の豪雪地帯である。その理由を海流と風に着目して簡単に説明せよ。

[解答]暖流の対馬海流の上を北西の季節風が吹き、それが山地にぶつかり雪を降らせるから。

[台風と梅雨]

[問題](要点把握)

次の下線部 A～E で誤っているものを1つ選び、正しい語句に直せ。

A 北海道をのぞく地域では6月中頃から約1か月間はB 梅雨で、前線が日本列島上にとどまり長雨をもたらす。C 夏から秋にかけての時期には、D 熱帯低気圧がしばしば日本列島をおそい、Bの時期の豪雨とともに、E 風水害を引き起こす。

[解答]D 台風

※出題頻度：「梅雨○」「台風○」

[問題](2 学期中間)

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

日本の気候は、大部分が温帯に属している。(①)をのぞく地域では、6～7月ごろの降水量が多い時期である(②)がある。また、夏から秋にかけて、熱帯付近で発生した熱帯低気圧が発達した(③)が日本をおそい、各地に被害をもたらす。

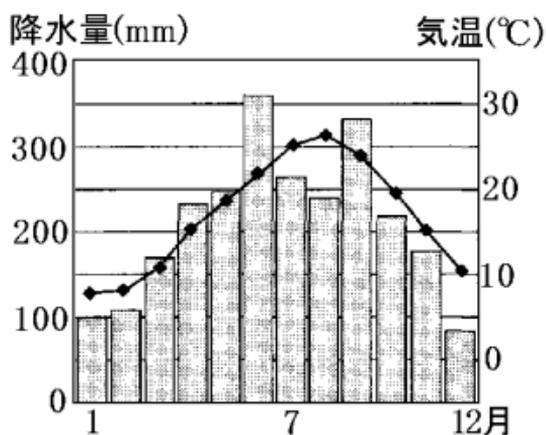
[解答]① 北海道 ② 梅雨 ③ 台風

[問題](2 学期期末)

右のグラフは、日本の太平洋側のある都市の雨温図である。このグラフでは、

特に①6月と②9

月に降水量が多いが、それぞれ何によるものか、それぞれ書け。



[解答]① 梅雨 ② 台風

【各ファイルへのリンク】

社会地理

[\[世界 1\]](#) [\[世界 2\]](#) [\[日本 1\]](#) [\[日本 2\]](#)

社会歴史

[\[古代\]](#) [\[中世\]](#) [\[近世\]](#) [\[近代\]](#) [\[現代\]](#)

社会公民

[\[現代社会\]](#) [\[人権\]](#) [\[三権\]](#) [\[経済\]](#)

理科 1 年

[\[光音力\]](#) [\[化学\]](#) [\[植物\]](#) [\[地学\]](#)

理科 2 年

[\[電気\]](#) [\[化学\]](#) [\[動物\]](#) [\[天気\]](#)

理科 3 年

[\[運動\]](#) [\[化学\]](#) [\[生殖\]](#) [\[天体\]](#) [\[環境\]](#)

【FdData 中間期末製品版のご案内】

この PDF ファイルは、FdData 中間期末を PDF 形式(スマホ用)に変換したサンプルです。製品版の FdData 中間期末は Windows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイル(A4 版)で、印刷・編集を自由に行うことができます。

◆FdData 中間期末の特徴

中間期末試験で成績を上げる秘訣は過去問を数多く解くことです。FdData 中間期末は、実際に全国の中学校で出題された試験問題をワープロデータ(Word 文書)にした過去問集です。各教科(社会・理科・数学)約 1800～2100 ページと豊富な問題を収録しているため、出題傾向の 90%以上を網羅しております。

FdData 中間期末を購入いただいたお客様からは、「市販の問題集とは比べものにならない質の高さですね。子どもが受け

た今回の期末試験では、ほとんど同じような問題が出て今までにないような成績をとることができました。」、「製品の質の高さと豊富な問題量に感謝します。試験対策として、塾の生徒に FdData の膨大な問題を解かせたところ、成績が大幅に伸び過去最高の得点を取れました。」などの感想をいただいております。

◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは、製品の全内容を掲載しており、どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。しかし、FdData 中間期末がその本来の力を発揮するのは印刷ができる製品版においてです。印刷した問題を、鉛筆を使って一問一問解き進むことで、大きな学習効果を得ることができます。さらに、製品版は、すぐ印

刷して使える「問題解答分離形式」、編集に適した「問題解答一体形式」、暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」(理科と社会)の3形式を含んでいますので、目的に応じて活用することができます。

[FdData 中間期末の特徴\(QandA 方式\)](#)

◆FdData 中間期末製品版の価格

社会地理, 歴史, 公民 : 各 7,800 円

理科 1 年, 2 年, 3 年 : 各 7,800 円

数学 1 年, 2 年, 3 年 : 各 7,800 円

ご注文は電話, メールで承っております。

[FdData 中間期末\(製品版\)の注文方法](#)

※パソコン版ホームページは, Google
などで「fddata」で検索できます。

※Amazon でも販売しております。

(「amazon fddata」で検索)

【Fd 教材開発】 電話 : 092-811-0960

メール : info2@fdtext.com